

赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン
重症児等とその家族に対する支援活動応援助成

<助成決定にあたって>

2022年5月31日
社会福祉法人中央共同募金会

1. 応募状況

- (1) 応募総数 46件
- (2) 応募総額 1億6089万円
- (3) 応募団体の内訳
 - ①団体の所在地域…東京都12件、神奈川県8件など、全国の18都道府県から応募が寄せられた。
 - ②法人種別…NPO法人（認定NPO法人を含む）が最も多く29件あり、法人格のない団体も4団体あった。

2. 助成決定状況

- (1) 採用件数 23件
- (2) 採用案件の助成総額 7,807万円

財源が限られていることから、応募要項に照らし合わせて審査を行い、必要性や資金的な緊急性が高い活動であると応募書から判断されるものを優先して決定しました。

3. 助成決定にあたって ～審査委員長コメント～

2021年9月に医療的ケア児支援法が施行され、保育所や学校等における看護師配置などが自治体の責務となるなど、医療的ケア児の地域生活を支える制度が整備されました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、医療的ケア児、難病児、重度障がい児やその家族が、サービスの利用や面会・付き添いに制限がかけられたり、社会体験や学習機会が減少したりすることによって困難な状況に置かれている現状がありました。

本助成は、こうした子どもや家族を支援する活動を、資金面から応援することを目的として新たに設けたものです。新型コロナウイルスにより、厳しい環境にある人がより厳しい状況に置かれ、なかなか声を上げることができないなか、必要な人に必要な支援

を届けることで、こうした領域の活動に光を当てることができることは、社会にとって大きな意義のあるものと感じています。

本助成には、全国から46件の活動の応募をいただき、審査委員会において各活動内容を精査し、入院闘病中の子どもと家族のサポートハウスの安全・安心を守るための環境整備、重症児等のコミュニケーションや生涯学習を支援する環境づくり、家族のレスパイトや孤立解消などの場づくり、放課後等デイサービス事業など、日常的な支援活動のほか、社会発信のための全国フォーラム開催、災害時に安心して避難できる避難所づくりの活動など、23件を採択いたしました。

医療的ケア児やその家族を支えるための、さまざまな観点からの幅広い活動や、多様な規模の団体から多くの応募をいただきました。少しでも多くの活動を応援したいという審査委員の想いもあり、審査には大変苦慮いたしました。今回の採否にかかわらず、どの活動も当事者や社会にとって、大きな財産であると考えております。

新型コロナウイルスの感染の終息を祈念するとともに、本助成が、医療的ケア児や家族への支援を社会に広げる契機となることを願っております。

「重症児等とその家族に対する支援活動応援助成」審査委員会
審査委員長 石 渡 和 実